

街を行く

第63回 表参道 Omotesando

玩具の“ハコ”そのものが街に

クリスマスイルミネーションが美しい、都内有数のブランドストリート「表参道」が今回のテーマです。日本を代表する繁華街と言えども思い浮かぶのは銀座ですが、今回表参道を歩いてみて筆者の印象は変わりました。銀座の首位の座こそ不動ではありますが、筆者の心の中で何かが動いたのです。

銀座に対する筆者のイメージはちょっとお堅い感じで落ち着かない、少なくともカジュアルさを好む若者たちの心を捉える魅力には欠ける印象です。なぜお堅いのかは言わずもがな、丸の内・大手町や日本橋という一大オフィス街に囲まれているからです。すなわち、フォーマルというか、現実に背伸びをして高級品を買う街といった印象がある。また、夕暮れあたりから中高年のエグゼクティブが集う高級クラブみたいな店が沢山あることも近寄り難くしていると思います。

それに比べ表参道はカジュアルです。若者に圧倒的な人気の渋谷と近いため臆せず街を歩けます。青山に近いということも見逃せません。昔から青山はオシャレで洗練されたセレブが集う商業ゾーンですが、大通りから一歩踏み入ると住宅が多く生活感に溢れた街でもあります。だから自由気ままに街歩きが楽しめるのです。街に漂っているシンプルで垢抜けた生活感はオシャレ好きな人たちが理想とするライフスタイルであり、せめて雰囲気だけでも感じていたいという人々を一挙に集めているのでしょう。それゆえ、そんな彼らの期待を裏切ることには決して許さ



れないので、日々切磋琢磨しているとこの青山の不思議なエネルギーを生み出している所以なのです。

また、表参道に新しく現れてきた流行は、どんなものでも受け入れますし、飽きられたら素早く捨てられます。訪れる人が街のポリシーみたいなものに合わせられる銀座と違って、街が訪れた人を必死になってキャッチアップしている感じです。

街の大きな役割の一つには、現実逃避の手助けがあります。日常のすべてを忘れ、訪れている間だけでもその雰囲気満喫する。いわば、違う自分に変えてくれる魔法のようなものです。普段味わっているのとは違う生活感があります。

いくらもの凄いハコ物を作っても、来てくれる人が面白いと思わなければ意味がありません。「表参道」は街全体が子供からお年寄りまで、ワクワクするおもちゃのハコのようなものです。特にクリスマスの時期は遊園地みたいな気がしましたが、今回は筆者の印象を書いただけですが、今年も色々な「街」を訪ねたいと



表参道のクリスマスイルミネーションがキラキラとして綺麗です

思いますので宜しくお願いします。皆さんからのリクエストがあれば、できる限りお応えしていこうとも思っています。

南 一 弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役に就任。